

令和 2 年度 第 4 回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 令和 2 年 7 月 16 日 午後 3 時から

場所 宍粟市役所 4 階 402・403 会議室

第4回（定例）宍粟市教育委員会会議録

1 開会・閉会の年月日時及び場所

令和2年7月16日（木） 午後3時～午後4時3分
兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6

2 会議に出席した者の職氏名

教育委員

西岡章寿	教育長	金本一二	委員
片山繁樹	委員	中山由香里	委員
中田直人	委員		

事務局

大谷奈雅子	教育部長	山本信介	教育部次長
世良繁信	次長兼学校教育課長	中尾善弘	次長兼こども未来課長
西林文隆	次長兼施設整備課長	進藤美穂	教育総務課長
水口恵子	社会教育文化財課長	池本雅彦	学校給食センター所長
西田征博	人権推進課長	太田雅章	教育総務課副課長

3 開会

西岡教育長が開会した。

4 会議の成立宣言

出席者数5名となり、西岡教育長が会議の成立を宣言した。

5 会議録署名委員の指名

署名委員は、西岡教育長の指名により、次のとおり決定された。

中山委員

6 前回会議録の承認

令和2年度第3回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件
前回の定例教育委員会における協議事項、報告事項の会議録について、進藤教育総務課長が説明し、承認された。

7 教育長報告

次の3点について西岡教育長が報告した。

(1) 宍粟市中学校総合体育大会の実施について

コロナ禍で全国中学校体育大会をはじめ上位の大会は中止となりましたが、宍粟市中学校体育連盟では、7月23・24日に、野球、ソフトボール、バレー、卓球、サッカー及び剣道の市内中学校大会を実施します。

なお、バスケットボールは1校しかないため、上郡中学校において交流戦に参加、また、陸上については、太子町総合公園陸上競技場で開催される西播磨中学校記録会へ参加します。さらに、柔道については、8月22日の赤穂市の大会に参加します。

いずれも、保護者の大会観戦は可能となります。

(2) 市内企業等からの寄付について

西兵庫信用金庫様から、市内小中学校に大型扇風機を2台ずつ寄贈いただくことになりました。この大型扇風機は体育館等の広い部屋で利用できるものです。また、にしん地域振興財団様より、小中学校、幼稚園及びこども園に図書券100万円分を寄贈いただき、7月17日に大型扇風機とあわせて贈呈式を行うこととなっています。

また、去る6月28日に株式会社OSM様より、市立図書館へ図書10万円相当を、さらに、地元地区の山崎東中学校に120冊の図書の寄贈をいただいております。

(3) GIGAスクール構想・環境整備の進捗について

1人1台端末の整備につきましては、後ほど協議報告事項で機器購入の契約について担当課より説明させていただきますが、残りの児童生徒分についての国庫補助金の内示が7月1日付けであったことから、購入契約についての議案を直近の議会に上程し、早期に端末を整備したいと考えています。これにより、全児童生徒の端末の整備は10月末の予定となります。

8 協議報告事項

(1) 令和2年度宍粟市一般会計6月補正予算（第6号）（教育委員会関係）について

資料1「令和2年度6月補正予算（第6号）【教育委員会関係】」により、進藤教育総務課長、世良次長兼学校教育課長、中尾次長兼こども未来課長及び西林次長兼施設整備課長がそれぞれ説明した。

(2) 夏季休業期間短縮に対する熱中症対策としての下校時の路線バス利用許可について

資料2「夏季休業期間短縮に対する熱中症対策としての下校時の路線バス利用許可について」により、進藤教育総務課長が説明した。

(3) 通学路交通安全推進協議会の協議状況について

資料3「通学路交通安全推進協議会の協議状況について」により、進藤教育総務課長が説明した。

(4) 新型コロナウイルス感染防止予防方策に係る中止・延期対象事業について

資料4「新型コロナウイルス感染防止予防方策に係る中止・延期対象事業」により、世

良次長兼学校教育課長が説明した。

(5) 小中一貫教育推進状況について

資料5「宍粟市における小中一貫教育に係る今年度の取組と今後の予定について」等により、世良次長兼学校教育課長が説明した。

(6) 神戸幼稚園舎及び遊具等解体撤去工事の契約概要について

資料6「神戸幼稚園舎及び遊具等解体撤去工事の契約概要」により、中尾次長兼こども未来課長説明した。

(7) 宍粟市立小中学校情報機器購入の契約概要について

資料7「宍粟市立小中学校情報機器購入（その1）概要」により、西林次長兼施設整備課長が説明した。

(8) 宍粟市人権教育研究協議会事業計画について

資料8「2020年度宍粟市人権教育研究協議会事業計画」により、水口社会教育文化財課長が説明した。

(9) 山崎南中学校区西播磨地区人権教育実践研究地域指定事業（中間発表）の取組について

資料9「西播磨地区人権教育研究協議会指定人権教育実践発表会実施要領」により、水口社会教育文化財課長が説明した。

(10) 学校給食における異物混入状況及び対策について

資料10「令和2年度学校給食センター異物混入状況及び対策」により、池本学校給食センター所長が説明した。

(11) 人権文化をすすめる市民運動推進月間事業について

資料11「宍粟市における推進月間の取組」により、西田人権推進課長が説明した。

委員の主な意見及び事務局の説明

（中田委員）

補正予算関係について2点お伺いする。1点目として、人的体制の強化の部分で、スクールサポートスタッフ、学習指導員、そして加配もあったと思うが、どれくらいの規模で体制強化が図られたのか、配置の状況も含めて教えていただきたい。2点目として、国のGIGAスクール構想を受けて、宍粟市としての短期的、また中長期的な見通しや完成形をもっているのか教えていただきたい。

（世良次長兼学校教育課長）

学習指導員について、中学校で1名、小学校で最大2名の予算が措置されている。現在の人材確保の状況については、中学校ではすべての学校で確保できている。一方、小学校では12

校のうち3校でまだ確保できておらず、残りの9校のうちの3校では2名の枠に対して1名がまだ確保できていない状況である。スクールサポートスタッフについては、現在12名の人材が確保できているが、引き続き人員確保に努めていく。

(西林次長兼施設整備課長)

G I G Aスクール構想関係について、1人1台端末に向けたネットワーク整備については、昨年度の補正予算及び繰越明許費に計上して今年度整備予定としており、業者選定についてはプロポーザル方式で行うこととしている。工事は年度内に完了し、これによりネットワークの高速大容量化が図れる。

(中田委員)

1点目の質問の部分で、加配については、新学習システムの拡充等（勤務時間数の拡充）で対応されているという認識でよいか。

(世良次長兼学校教育課長)

お見込みのとおり。

(中田委員)

2点目のG I G Aスクールの部分で、W i - F i 環境が整っていない家庭への貸与については、アンケート調査等で貸出用モバイルルータの必要数を算出しているのか。

(西林次長兼施設整備課長)

学校休業期間中に、学校教育課より各学校を通じてアンケート調査を実施しており、概ねの必要数を把握している。

(中田委員)

もう1点だけ確認させていただきたい。新型コロナウイルス感染症対策、学習支援対策、そして熱中症対策ということで、学校の先生方も大変な状況であるが、暑さ指数ということで、各学校に測定器は配備されているのか。また、7月23・24日に市総合体育大会が実施されるが、暑さに対する市の統一基準というものはあるのか。

(世良次長兼学校教育課長)

国の基準に従って適切に対応するほか、学校に測定器を備えており、一定の値を超えれば直ちに競技を中止するといった対応を行うこととしている。

(西林次長兼施設整備課長)

過去に熱中症が大きな問題となったときに、各学校の体育館に乾湿度計を設置し、温度確認がしやすいよう対応している。

(片山委員)

小中一貫教育の取組について、まず1点目として、6月25日の一宮北小中学校運営協議会において説明があったとのことであるが、学校運営協議会についてはどのような方で構成されているのか教えていただきたい。2点目として、8月上旬に千種小中学校の一貫教育整備に向けた説明を行う予定となっているが、優先順位として、一宮北小中の次に千種小中という意味になるのか。以前も意見させてもらったが、北部地域では学校運営協議会が設置されており、比較的小中一貫教育を推進しやすい体制であると思うが、南部地域では学校運営協議会の立ち上げ段階から丁寧な対応が必要であると思うが、そのあたりも含めて再度伺います。

(世良次長兼学校教育課長)

1 点目について、一宮北では小中学校でひとつの学校運営協議会を設置している。主なメンバーとして、PTA会長をはじめ、地元の企業の代表者、同窓会長などが構成員になられている。本日資料を持ち合わせていないため詳細な説明ができないため、後日資料を配付させていただく。次に2 点目について、一宮北小中学校の次は千種小中学校で小中一貫教育を進めていく方向で考えている。なぜ千種かというところについては、委員もご承知のように、千種では学校園所の連携が進んでいる地域であることから、整備が図られやすい地域から進め、その成果を他の地域へ広げていくという形をとっていきたい。

(中田委員)

小中一貫教育についての関連として、来年度以降、県内では小中一貫教育に取り組まれたり、またその構想がある市町が多くあり、全県的にその広がりを見せている。そのような中、宍粟市では平成 21 年に構想が策定され、すでに 10 年来先進的に推進され、小中の連携から一貫に向けて効果をあげられていると認識しているが、縦軸として小中一貫、横軸としてコミュニティスクールといった大きな考え方、つまり小中一貫に向かう上ではコミュニティスクールとセットで推進することを基本的な考えとしているという認識でよいか。また、小中一貫教育を進める上で課題も整理されていると思うが、いろんな学校で小中一貫教育が進められる中で、これまでの教育効果を集積して共有することが大事であると考えている。来年度から一宮北小中学校で一貫教育がスタートするという事で、将来に向けて宍粟市の教育として特色ある取組が展開できるよう推進をお願いしたい。

(世良次長兼学校教育課長)

成果を集約して示していくということはとても重要であると考えている。ご意見いただいたことについては力を入れて取り組んでいきたい。

(金本委員)

コロナ禍の影響で自宅で学習をしてもらうためにGIGAスクール構想の取組が加速化されたと思うが、1 人 1 台端末ということで、タブレット等の使用による子どもの視力の低下や電磁波による影響などチェックしていく必要もあるのではと考えるがいかがか。

(西林次長兼施設整備課長)

現段階ではどのような影響があるのか確認していない。ご意見のあったことについては調査してあらためて報告させていただく。

9 次回会議の招集について

令和 2 年 8 月 20 日（木）午後 3 時から、令和 2 年度第 5 回宍粟市教育委員会を開催するとした。

10 閉会

金本委員が閉会した。

以上 午後 4 時 3 分終了